

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

ぼくたちは社会科の学習で、学校の給食室を見学した。調理員さんたちは、まだ太陽が校舎のうしろにある朝早くから白い帽子とマスクをつけ、まず手洗いを何度もくりかえす。指の間やつめの先まできゅつきゅっとこすり、終わると体温や体の調子を記録表に書き入れる。

「みんなのごはんを作る人は、自分の体もきれいにしておくのよ」

と栄養教諭の先生が教えてくれた。更衣室の前には、髪の毛やほこりを取るエアシャワーまであった。

まずは献立表の説明。今日のメニューは「さけの塩焼き、ひじきの煮もの、みそ汁、ごはん、牛乳」。黒板の横には産地表示の紙があり、「にんじん…県内」「米…学校田んぼ」と書かれている。

「近くでとれた食材を使うと、運ぶ時間が短くて新鮮。地域の人の仕事にもつながるんだよ」

と先生。ぼくはノートに「産地地消」と写した。

納品口では、箱から出てきた材料を数え、ラベルの表示を確認する。冷蔵庫にしまふ順番も決まっていて、温度計の数字がピツと光るたび、表に検温の値が書きこまれた。アレルギーがある子の分は、はじめから別の鍋やトレーに分け、色のちがう札と名簿で二重にチェックする。

「ここは、まちがえないための大事な線なの」と調理員さん。

大きな回転釜では、煮ものがぐつぐつと音を立てる。長いしゃもじで底まで混ぜると、しょうゆと出汁のふわりとした香りが広がった。栄養教諭の先生は小皿に少しだけ取り、味見してから、そつと温度計を入れる。「味と温度、両方そろって『おいしくて安全』だよ」。できあがった料理からは、検食用に一人分を取り分け、もしものときのために保存するのだと教わった。

焼き場では、さけの切り身が鉄板の上でじゅうじ

ゅう。やけどをしないようにミトンをつけ、鉄板を大人二人でよいしょと運ぶ。大きな釜で炊いたごはんは、しゃもじでしゃっしゃと切るように混ぜ、湯気がもわんと上がる。でき上がった料理は、教室ごとの食缶に同じ重さになるよう量って入れる。ぼくが見ている前で、はかりの針がぴたりと真ん中で止まった。

「どの教室にも同じだけ届くようにね」と調理員さんが微笑む。

配ぜん前の身支度もていねいだ。手袋を替え、マスクを新しくし、トングは消毒液で拭く。配ぜん表には、クラスごとの人数とアレルギー表示、ワゴンの順路まで書かれている。

「時間はあわてず、でもきっちり。」

調理主任さんの声にうなずきながら、ぼくは腕時計を見た。ちょうどそのとき、校庭に昼のチャイムがキーンコーンとひびいた。

見学の最後に、先生が質問を受けてくれた。

「残ったらどうするの？」

とだれかがたずねる。

「まず残菜の量をはかって記録し、次の献立や量の調整に生かします。食べられる分はおかわりでムダをへらす工夫もね」

ぼくは鼻の先に残るみそ汁の香りを感じながら思った。毎日の給食は、たくさんの人の準備と気づかいでできている。感謝の気持ちで言葉にすること、食べ終わった食器をきちんと戻すこと、苦手なものにもひと口チャレンジすること——それも、ぼくにできる仕事かもしれない。



(1)

給食室で調理員さんたちは朝早くから、最初にどんなことをしていますか。本文にもとづき、三十字以内で書きなさい。

(2)

次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① 材料の数や表示を確認する。
- ② 小皿で味見し、温度を測って記録する。
- ③ 手洗いをくりかえし、体調を記録する。
- ④ フゴンの順路どおりに配ぜんに出す。

↓

↓

↓

(3)

次の語群から、本文にある音やようすを表す語を二つだけ選び、○で囲みなさい。

【語群】

ぐつぐつ ゆらりと ポタポタ もわん

(4)

アレルギー対応について、本文の内容に最も近いものを一つ選びなさい。

- ① はじめから別の鍋やトレーに分け、札と名簿で確認する。
- ② みんなと同じ鍋に入れてから名前を書く。
- ③ 量を少なくするだけでよい。

答え ()

(5)

食缶を同じ重さに量るのは、なぜですか。二十五字以内で説明しなさい。

(6)

次の文の()に入る適切な語を、本文から三語書きぬきなさい。

給食は()()と()を
確かめ、記録し、時間通りに
()
()される。

(7)

文中の「地産地消」のねらいに最も近いものを一つ選びなさい。

- ① 食塩を使わなくてもおいしくなる。
- ② 調理時間が短くなり、味が濃くなる。
- ③ 運ぶ時間が短くて新鮮、地域の仕事にもつながる。

答え ()

(1)

給食室で調理員さんたちは朝早くから、最初に
どんなことをしていますか。本文にもとづき、
三十字以内で書きなさい。

手洗いを何度もくりかえし、体温や
体の調子を記録する

(2)

次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① 材料の数や表示を確認する。
- ② 小皿で味見し、温度を測って記録する。
- ③ 手洗いをくりかえし、体調を記録する。
- ④ フゴンの順路どおりに配ゼンに出す。

③ ↓ ① ↓ ② ↓ ④

(3)

次の語群から、本文にある音やようすを表す語を二つ
だけ選び、○で囲みなさい。

【語群】

ぐつぐつ ゆらりと ポタポタ もわん

(4)

アレルギー対応について、本文の内容に最も近い
ものを一つ選びなさい。

- ① はじめから別の鍋やトレーに分け、札と名簿で
確認する。
- ② みんなと同じ鍋に入れてから名前を書く。
- ③ 量を少なくするだけでよい。

答え (①)

(5)

食缶を同じ重さに量るのは、なぜですか。二十五字
以内で説明しなさい。

どの教室にも公平に同じ量を届ける
ため

(6)

次の文の()に入る適切な語を、本文から三語
書きぬきなさい。

給食は(味)と(温度)を
確かめ、記録し、時間通りに
(配ゼン)される。

(7)

文中の「地産地消」のねらいに最も近いものを一
つ選びなさい。

- ① 食塩を使わなくてもおいしくなる。
- ② 調理時間が短くなり、味が濃くなる。
- ③ 運ぶ時間が短くて新鮮、地域の仕事にもつなが
る。

答え (③)